



I 学校の現状や課題

【学校の現状】

本校は、秋田東高等学校、秋田工業高等学校定時制課程、秋田中央高等学校定時制課程が統合し、平成17年に新たに設立された定時制・通信制高等学校である。生徒一人一人の学びに沿った学習スタイルの提供を通し、心豊かな人材を育成することを目標として教育活動を行っている。

定時制課程は、午前・午後・夜間の3部制、単位制、2学期制を特徴としている。

通信制課程は、公立高校としては県内唯一であり、一般社会人も受講できる科目履修講座など多様な学びのシステムを構築し提供している。また、不登校・引きこもり傾向にある小・中学生の学びの場・心の居場所として、フリースクールの空間「スペース・イオ」を設置している。

【課題】

生徒たちは、自分に合った学び方を求めて本校を選択し、学びへの意欲を持ち通学しているが、指導にあたり次のような点が課題として挙げられる。

- 1 基礎学力の定着
- 2 社会体験の機会提供
- 3 自己肯定感・自己有用感の醸成
- 4 多様な学びのシステムの検討・開発

II 学校を取り巻く将来の状況の予測

少子高齢化が更に進む中、本校には、多様な学びを提供しながら秋田を支える人材を育成することが、一層求められている。

本校は、秋田駅近くに位置するビル内にあり、生徒1,000名近く、職員100名余が通学通勤している。近隣には、文化施設や商業施設があり、毎週のようにイベントが開催されるなど、賑わいを創出している。

こうしたことも視野に入れて、本校の果たす役割は次のように考えられる。

第一は、生徒一人一人の将来を見据えた目標を実現させること。

第二は、地域に貢献する生徒集団・学校であること。

III 目指す方向性・学校像や生徒の姿

【目指す方向性・学校像】

生徒の自主性を尊重しつつ、多様な学びを提供しながら、秋田を支える自覚ある人材の育成を図る学校。

【目指す生徒の姿】

- ◇責任感をもって行動できる生徒（自主自律）
- ◇思いやりの心をもって行動できる生徒（心豊かに）
- ◇地域や社会の一員の自覚をもって行動できる生徒（朗らかに）

IV 5年間を通しての具体的目標

これらの課題を解決し本校の使命を全うすべく、中期的視野で次のような目標を掲げ、具体的な取組を行っていく。

- 1 基礎学力の定着
- 2 キャリアガイダンスの充実と進路実現
- 3 社会性・規範意識の育成
- 4 教育機能の充実・支援体制の整備

秋田県立秋田明德館高等学校 定時制課程 中期ビジョン (H31.4)

重点目標

具体的な取組 H28~R2 (H32)

基礎学力の定着

- 自学自習
- 授業力の向上
- 出席率の向上

- 個別指導の強化 少人数学習・習熟度別学習(英語・数学) 学び直し講座の開設
- 自学課題の提供 履修科目登録指導
- 分かる授業の推進 授業研究会 生徒による授業評価
- 授業のユニバーサルデザイン化(UD化)

キャリアガイダンスの充実と進路実現

- 就職・進学率の向上
- 進路意識の高揚
- 進路情報の提供
- 卒業時の進路実現率80%以上

- 模試・補習・個別指導 資格取得の奨励 新規企業開拓
- 進路ガイダンス 就労体験の推進(インターシップ・アルバイト) 就労指導 OB・企業による進路講話
- 「進路の手引」作成 ハローワークとの連携 就職支援員の活用 就職支援講座

社会性・規範意識の育成

- 学びにふさわしい整容
- 挨拶の励行
- 部活動の奨励
- 清掃意識の育成
- 地域イベントへの参加

- TPOに応じた態度や言動 さわやかな整容意識の確立
- 挨拶指導の通年実施 保護者参加の挨拶指導 定期的な巡視
- 部活動加入率の向上 思いやりの心の育成 コミュニケーション能力の育成
- 教室掃除の習慣化
- 地域ボランティアの推奨 通学路清掃

教育機能の充実 支援体制の整備

- 健康・安全教育
- 教育相談体制
- 特別支援教育体制
- 学校情報の発信
- 中学校訪問

- 健康・安全講話 個別指導の強化 地域教育力の活用
- スクールカウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーの活用 職員研修
- 通級指導教室の充実 支援が必要な生徒への情報提供 校内外の連携
- 学校見学の随時受入
- ウェブサイトの定期的更新
- 学校説明会への参加 体験入学の実施